

## お子様の「困り感」への改善についてのご案内

いつも本校へのご理解、ご協力ありがとうございます。

お子様が小学校に入学し、約1か月半が過ぎようとしています。学級担任を中心に、お子様方の学校生活をより充実できるよう、学習や生活面を中心に教育活動を進めています。

学校での教育活動を行う中で、3月までの保育園や幼稚園等、集団が小さい中での生活だったのが、一クラス30人近くの子供たちを担任一人が見ていく状況になりました。また、小学校での生活は机に座っての学習が主になっています。以上のことから、お子様が学校に慣れていくことに時間がかかる場合があります。同時に集団が大きいことから、お子様の「困り感」が、より強くなっている場合も見受けられます。お子様に以下のような様子が見られる場合はあるでしょうか。

### 集団生活や学習に困り感がある

- ・初めての場や人に強い不安を感じる。
- ・人が多い場所を極端に嫌がる。
- ・友達とうまく関わるのが苦手。
- ・会話が一方的で、時にずれが生じる。
- ・道順や着るものにこだわる。
- ・よく動き回る。席を離れる。
- ・急な予定変更が苦手である。
- ・周りの状況把握に困難がある。
- ・特定の学習に部分的な遅れがある。
- ・学校では、ほとんど話をしない。
- ・約束事を守ることが苦手。など

※特別支援教室「ふたば」HPより

### 聞こえや話し方に困り感がある

#### 【きこえにくさがある】

- ・きこえにくさがあり、補聴器や人工内耳を装着している。
- ・難聴が原因で発音や言語発達、コミュニケーションに課題がある。

#### 【発音に誤りがある】

- ・「さかな」→「さたな」など、特定の音が他の音になる。
- ・特定の音が歪んでいる。

#### 【非流暢な話し方をする】

- ・言葉のはじめを繰り返す、引き伸ばす、つまるなど話しにくそうにしている。
- ・極端に早口だったり、「えっと」等の言葉を多用したり、体を動かしたりしながら話す。

#### 【言語発達の遅れがある】

- ・知っている言葉の数が少ない。
- ・言葉の使い方を誤っている。
- ・たくさん話すが、話がまとまらず伝わりづらい。

※難聴・言語障害通級指導学級「きこえとことばの教室」HPより

本校には2つの困り感を改善していくために、本校には、特別支援教室「ふたば」と難聴・言語障害通級指導学級「きこえとことばの教室」が併設されています。

お子様に以上の困り感について気になる点がありましたら、担任まで連絡ください。1年生の早い段階でお子様の困り感の改善に繋がればと考えています。この2つの教室は本校HPにも掲載しています。ぜひ、ご覧ください。